盛岡でしたい10のこと

木伏緑地（北上川河川敷）

1 まちなかで深呼吸

岩手山が凛とそびえ、まちなかの川には鮭が遡上します。県庁所在地でありながら、思わず深呼吸したくなるほどに自然が身近にある盛岡。川沿いを散策した時間が過ごせます。

2 城下町としての盛岡を歩く

16世紀から南部氏の居城であった盛岡城は日本百名城の一つ。現在は盛岡城跡公園として市民の憩いの場になっています。城の周辺には擬宝珠がついた上の橋に下の橋、古い商家や、魅惑的な伝説が残る神社仏閣が点在。城下町ならではの歴史や文化が味わえます。

盛岡城跡公園

二代 盛岡藩主 南部利直公（もりおか歴史文化館提供）

2 3 7 17 4

3 盛岡三大麺を味わう

コシの強い麺とコクのあるスープが特徴の「盛岡冷麺」。手元の椀のそばをすると紐状がおかわりを入れ、食べた数を競う「わんこそば」。平麺に肉味噌やキュウリなどを混ぜて味わう「盛岡じゃじゃ麺」は、皿に卵を溶いてつくるスープ「ちーたんたん」で仕上げるのが基本。市民が愛する個性豊かな麺料理をご賞味ください。

盛岡三大麺のお店はこちら

盛岡三大麺

盛岡じゃじゃ麺

わんこそば

盛岡冷麺

4 レトロ建築の世界をめぐる

東京駅と同じ建築家が手掛けた岩手銀行赤レンガ館、盛岡出身の建築家が設計したもりおか啄木・賢治青春館（伝統的な盛岡町家など、江戸・明治・大正・昭和と、時代を超えて愛される建築がまちなかに残っています。

旧盛岡高等農林学校本館（岩手大学構内）

4 9 10 11 12 13 15

5 盛岡ゆかりの先人に出会う

青春時代を盛岡で過ごした歌人・石川啄木と宮沢賢治、国際人・新渡戸稲造、政治家・原敬など、盛岡には幅広い分野で活躍した先人がいます。関心のある先人の記念館やゆかりの場所を訪ね、作品や思想、生き方に触れる学びのひとときを。

石川啄木（石川啄木記念館提供）

原敬（原敬記念館提供）

新渡戸稲造著『BUSHIDO』初版本（盛岡市先人記念館提供）

8 12 15 16 2 3 6 7 9 2

6 喫茶店でこだわりの一杯を

盛岡は、豆を自家焙煎する喫茶店が多く、まちなかを歩いていると、時折コーヒーのよい香りが漂ってきます。地元の湧き水を使ったり、豆、道具、空間など、店ごとに個性があります。お店のこだわりの一杯を味わってみてはいかがでしょう。

まち歩きの休憩にも（もりおか啄木・賢治青春館内、喫茶あこがれ）

南部鉄器

7 手仕事のぬくもりに触れる

岩手を代表する伝統工芸品南部鉄器、昔ながらの紫根染や南部古代型染、イギリス生まれの軽くて暖かなホームスパンなど、手仕事が受け継がれています。工房のいくつかは「小さな博物館」として、ものづくりの現場を公開中。ぬくもりある手仕事で、暮らしを彩ってみませんか。

2

「小さな博物館」でもっと知る

小さな博物館

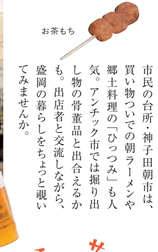
ホームスパン

南部古代型染

8 「市」で暮らしを覗く

盛岡の「市」では新鮮な食材や手づくりの菓子、生花などが販売されています。盛岡市民の台所・神子田朝市は、買い物ついでの朝ラーメンや郷土料理の「ひっつみ」も人気。アンチック市では掘り出し物の骨董品と出合えるかも。出店者と交流しながら、盛岡の暮らしをちょっと覗いてみませんか。

材木町よ市


お茶もち

9 盛岡の情趣を祭りで感じる

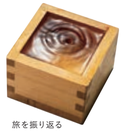
盛岡さんさ踊り（盛岡さんさ踊り実行委員会提供）

盛岡秋まつり

脈々と続く、季節を彩る伝統行事。初夏には鈴の音を響かせ馬が歩くチャグチャグ馬コ、夏は世界一の太鼓パレード・盛岡さんさ踊り。お盆には舟っこ流して祖先の霊を送り、秋まつりでは勇壮な山車が市内を練り歩きます。伝統のなかに、盛岡の情趣があふれています。

10 良質な水が育んだ酒を嗜む

地酒づくりには盛岡の澄んだ水が欠かせません。日本三大杜氏の一つである南部杜氏が仕込む地酒のほかにも、焼酎や地ワイン、シードル、クラフトビールなどのおいしいお酒がつくられています。お好みのお酒で盛岡の夜をお楽しみください。


旅を振り返る一杯を

新しい杉玉が告げる新酒の季節

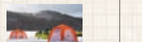
もりおか旅時間 memo

12か月の風物詩 季節ごとに楽しめる盛岡のあれこれ

1月 裸参り

盛岡八幡宮ほか

2月 氷上ワカサギ釣り


岩洞湖

3月 ばっけ咲く、サケの稚魚放流

※ばっけ＝ふきのとうを指す東北の方言

4月 さくらの季節

石割桜ほか

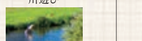
5月 草も萌ゆる 川べり散策

北上川ほか

6月 チャグチャグ馬コ

滝沢市・盛岡市

7月 アユ釣り解禁、川遊び


中津川（中の橋）

8月 盛岡さんさ踊り

中央通（盛岡さんさ踊り実行委員会提供）

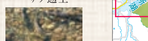
9月 盛岡秋まつり

市内一円

10月 紅葉を楽しむ

盛岡市中央公民館ほか

11月 中津川に サケ遡上


中津川（上の橋）

12月 もりおか イルミネーションプライド

もりおか歴史文化館前広場ほか

「市」の時間

場所は中面マップ▶参照

神子田朝市

材木町よ市

AM 5:00～8:30 火～日曜（通年）
4～12月 5:00～7:30、1～3月 5:30～7:30
土・日・祝は8:30まで営業
定休日 1月毎日（4～12月は祝日、振替休日営業）

1 神子田朝市
☎ 019-652-1721

AM 8:00～15:00 第3日曜（4～11月）

2 紺屋町奥州懐古 アンチック市 ※雨天時中止
☎ 019-652-0879

AM 11:00～13:00 毎月1日（5～11月）

3 盛岡つなぎ温泉 いちの市
☎ 019-689-2109

AM 11:00～16:00
水・金曜（通年）・祝祭日は休み）

4 盛岡駅前 北の民謡市場
☎ 019-652-2596

PM 13:00～16:00 土曜（4～12月）

5 葺手町 花の市
☎ 019-623-3036
葺手町商店街（紺系の店しゅん）

PM 15:10～18:30 土曜（4～11月）

6 材木町 よ市
☎ 019-623-3845

よくばり観光モデルコース

啄木／賢治旅前観光 ＞ 北上川と先人の地めぐり（約3時間）

光原社（いーはとーぶアベニュー材木町）

盛岡駅 徒歩6分 ▶ 木伏緑地 北上川の遊歩道 徒歩5分 ▶ いーはとーぶ アベニュー材木町 徒歩5分 ▶ 小野染彩所（南部古代型染）▼ 徒歩8分

盛岡駅 徒歩11分 ▶ 8 啄木新婚の家 徒歩11分 ▶ 15 岩手大学（旧盛岡高等農林学校本館）

晴れた日は橋の向こうの岩手山を眺めながら、北上川沿いを散策し、宮沢賢治・石川啄木ゆかりの地をめぐります。材木町では賢治にちなんだモニュメントや、南部古代型染など手仕事の店も楽しめます。

レトロ建築観光 ＞ 中津川と銀行建築と手仕事満喫めぐり（約3時間）

岩手銀行赤レンガ館

盛岡駅 バス12分 ▶ 盛岡バスセンター 徒歩3分 ▶ 10 岩手銀行赤レンガ館 徒歩1分 ▶ 4 盛岡信用金庫本店（外観） 徒歩1分 ▶ 11 ござ丸・森九商店 ▼ 徒歩2分

中の橋 徒歩4分 ▶ 上の橋 川原散歩 徒歩2分 ▶ 旧井弥商店（外観） 徒歩4分 ▶ 13 紺屋町番屋（紺屋町散策）▼ 徒歩3分

12 もりおか啄木・賢治青春館 徒歩3分 ▶ 盛岡バスセンター バス12分 ▶ 盛岡駅

盛岡の3大銀行建築❹❿⓫を中心に、江戸、明治の建物や、紫根染、南部鉄器、南部せんべいに手仕事の老舗をめぐり、鰻宝珠のある上の橋から中津川を散策して歩くゆったりコース。

予約制 「盛岡ふるさとガイド」の旅 ご予約はご利用の7日前まで

地元ガイドがご案内しています。
90分：全6コース
詳細は（公財）盛岡観光コンベンション協会HPをご確認下さい。

（公財）盛岡観光コンベンション協会
☎ 019-604-3305 FAX 019-653-4422
お申し込みフォーム
URL https://hellomorioka.jp/sightseeing/furusato/

おいしさを発見！

美食王国 もりおか

盛岡は農業も盛んで、質の良い食材が豊富にあります。「もりおか短角牛」「行者にんにく」「津志田の里芋」など、地元の食材を味わうことができます。食材情報や、「盛岡の美味しいもんアンバサダー認定店」はこちら。

10 THINGS TO DO in MORIOKA

テーマ関連施設（詳細は中面裏面参照）
●：文化財・歴史的建造物
●：美術館・博物館
●：つなぎエリア
●：玉山エリア

表紙：岩手銀行赤レンガ館（旧盛岡銀行）